

3. 北関東（地域別調査機関：（財）日本経済研究所）

（ - : 回答が存在しない、 : 主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良く なっている	コンビニ（経営者）	来客数の動き	・正月や春休みは近くの大学生が皆家に帰ってしまったので来客数を増やすのに大変苦労したが、今回、夏休みに入っても来客数が減っておらず、むしろ増加している。7月は売上目標をすべてクリアしており、来客数は過去最高を記録している。
	やや良く なっている	自動車備品販売店（経営者）	販売量の動き	・ここ数か月間は車の販売、修理、タイヤなどの売行きが悪かったが、ここにきて消耗する物の限界点がきているのか、タイヤなどの売行きが幾らか上がってきている。
		ゴルフ場（従業員）	来客数の動き	・単価は依然として横ばい状態が続いているが、来客数の動きが前月、前々月と比べると2%くらいずつ微増しており、上向きに転じている。
		その他レジャー施設〔アミューズメント〕（職員）	来客数の動き	・平日の夜から深夜に掛けてと週末、一般の方が仕事を終える時間あたりから来客数が急に増えてきている。仕事をするとレジャー、リラクスの時のメリハリがはっきりつきつつあるのではないかとみている。また、夏休みに入ってから来客数も増加している。
	美容室（経営者）	お客様の様子	・今月は雨が降って来客数はなかなか上がらなかったが、湿度が高いのでカット客が非常に増えている。また、設備投資の相談件数も前月に比べて増えてきている。	
変わらない		商店街（代表者）	お客様の様子	・徐々に液晶ハイビジョンテレビが売れてきている。
		商店街（代表者）	来客数の動き	・前半は順調に来店客が伸びていたが、後半は参議院選挙、中越沖地震などにより週末の入出が悪くなっている。
		一般小売店〔精肉〕（経営者）	お客様の様子	・特売には人が動くが、普段はまばらである。スーパーなどでも朝市等の客寄せがあれば人出があるが、普通の売出しではあまり集まってこない。
		一般小売店〔金物〕（経営者）	単価の動き	・石油関連の値上がりが続いており、非常に売りづらくなっている。そういう環境のなかで、あまり販売量は伸びていない。
		百貨店（売場主任）	販売量の動き	・1日からクリアランスセールで前日の土曜日は6月に入るため、非常に苦しいスタートであったが、後半の盛り上がりで盛り返している。
		百貨店（販売促進担当）	販売量の動き	・中元ギフトは前年実績を確保できたが、通常店頭商品の売上は引き続き苦戦を強いられている。
		スーパー（総務担当）	販売量の動き	・月初めはそこそこ数字が良かったが、梅雨明けが伸びたということもあり、中盤から後半に掛けては衣料品を中心に悪い状況が続いている。
		コンビニ（経営者）	競争相手の様子	・土日祭日は入らなかった家族連れが安い牛丼屋へ流れている。
		乗用車販売店（経営者）	競争相手の様子	・店舗の移転、縮小、在庫数を減らすなどしている店が出てきている。また、ガソリン価格の高騰に伴い、軽自動車に力を入れる店舗が多くなってきている。
		乗用車販売店（販売担当）	競争相手の様子	・当店も売れていないが、近所の店で集まってもとにかく今は良くないという話である。昨年まではこういう状況ではなく、3か月前と比べ販売台数が20%くらい落ちている。
		一般レストラン（経営者）	販売量の動き	・7月は例年売上の良い月だが、今年は梅雨が長く、今のところ期待したほど良くはない。
		旅行代理店（副支店長）	来客数の動き	・夏休みの旅行での来客数が少し増えているようである。しかしこの時期は毎年同じ程度の受注があるので特に忙しいというわけではない。また、客の動向も前月とあまり変わらない。
		タクシー運転手	販売量の動き	・懸念していた運賃値上げの影響による乗り控えもなく、運行単価が上がった分だけ収入増が続いている。
		ゴルフ場（支配人）	それ以外	・7月は天候に左右されている。台風4号襲来による土日と月末の大雨でのクローズがあり、月末になっても梅雨が明けず、日照不足による芝の発育や病気の発生が心配である。予約は前年度並みであるがコンペの割引交渉は依然続いている。

	その他サービス 〔自動車整備業〕（経営者）	来客数の動き	・今年に入り2度目以降の車検の入庫が徐々に回復してきた。ディーラー攻勢が強くなり、1回目の車検の入庫量は減少している。新車も中古車もなかなか売れず、車暦は伸び、古い車の修理が結構多い。
	設計事務所（所長）	来客数の動き	・たまたま複数の仕事の受注があり、忙しく対応しているが、あくまで一過性のものであり、これからもこの状態が続くとは思えない。相変わらず、フリーの客からの照会や問い合わせはないことから推察できる。
	住宅販売会社（経営者）	販売量の動き	・地域格差とよくいわれるが、県内でもつくばエクスプレスのごく一部の地域では地価が高騰しているが、当地域の地価はまだまだ下落が止まっていない。
やや悪くなっている	商店街（代表者）	販売量の動き	・以前と違い、客は必要な物以外は買わない。安い商品だけ動いて、高級品が売れなくなっている。
	一般小売店〔青果〕（店長）	来客数の動き	・来客数は極端に減ってきているし、来店しても本当に必要な物以外はあまり買う意欲がないようである。
	スーパー（統括）	販売量の動き	・2年ほど前から前年実績をクリアしているが、その伸びが7月は弱くなった。サラリーマンの実質的な手取りが減ったことが大きな要因の一つであると分析している。加えて、天候の不順で盛夏に販売数が伸びる商品が不調なことが挙げられる。
	スーパー（統括）	販売量の動き	・食品の1点単価、客単価は上昇傾向にあるものの、1人当たりの買上点数がわずかながら落ち込んでいる。特に、熟年層にメモやレンビを持って買物をする姿が増え、より慎重な買物傾向となっている。
	衣料品専門店（店長）	単価の動き	・梅雨が長引いたために涼しい日が多く、また、中越沖地震等により夏物衣料の購買意欲が低下したようである。
	家電量販店（営業担当）	単価の動き	・長梅雨もあり季節商材の動きが悪く、単価が低い。
	乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・新車の販売台数が12月から前年比90%以上になっておらず、今月も90%未満になる可能性が大きい。
	乗用車販売店（販売担当）	競争相手の様子	・例年6、7月はボーナスシーズンでかなり宣伝、キャンペーンをし、それなりの効果が上がっていたが、今年の6月後半～7月は、展示会を開催しても客が集まらず、集まってもなかなか契約につながらない状況である。競争相手の国産ディーラーのセールスマンに聞いても、200万円の車を50万円値引きしたような目玉商品として売り出した車には集まるが、新車、中古車問わず販売台数が伸びていないとのことである。当社も同様で目玉商品の安い車はそこそこ売れるが、ある程度の金額の売行きは例年になく悪い。
	その他専門店〔携帯電話〕（営業担当）	単価の動き	・例年より早く新商品を取りそろえ、万全とも言える体制でボーナス商戦に突入したにもかかわらず、販売台数が伸びていない。1週間も残っているが目標達成の期待は薄い。地域全体にも活気が感じられない。
	高級レストラン（店長）	販売量の動き	・常連客や予約客はそれほど変わらないが、フリーの客が激減しており、増税感から消費者の購買意欲が低下しているように感じている。
	都市型ホテル（スタッフ）	競争相手の様子	・競争相手の老舗ホテルが来年3月には撤退する。当地域では客室稼働が70%を割っているホテルが主流で、当ホテルは70%を超えているが今後が心配である。
	観光名所（職員）	販売量の動き	・別荘販売について、中古で比較的価格の安い物件の動きはあるが、新築の高額物件については動きが少ない。
美容室（経営者）	販売量の動き	・今月は本来ボーナス時期だが、地方の景気は大変悪く、ボーナスが支給されないところが多くなっている。天気の影響も含め、悪い条件が重なり、今月の売上は前月比4%減である。	
住宅販売会社（経営者）	お客様の様子	・都心部は景気が良いということだが、当地域では景気の良さはちっとも感じられない。町の中も相変わらず閉店する店や、シャッター通りが増えている。不動産についても客がなかなか慎重で、本当に安いものしか目をくれない状況である。	

	悪く なっている	商店街（代表者）	お客様の様子	・大型ショッピングセンターも厳しい競争を強いられ ているが、そのおりを受けて商店街は壊滅に近い打 撃を受けている。個人店が淘汰され、空き店舗も増 え、不動産屋の看板が目立つ。近ごろは客も商店街に そばを向いている状態である。	
		家電量販店（店 長）	販売量の動き	・梅雨明けが遅く、季節的な要因もあるが、総じて客 の購入意欲は低い。映像商品については、前年比で若 干割るくらいだが、白物商品については7掛けの状況 になっている。	
		住関連専門店 （店長）	販売量の動き	・販売量の動きも悪いが、客単価の低下が顕著に現れ ており、売上に影響している。	
		住関連専門店 （仕入担当）	販売量の動き	・夏物の動きが悪く、平年以下であった昨年を大きく 割り込む状況である。	
		スナック（経営 者）	来客数の動き	・この2か月ほどで急に悪くなってきている。フリー の客が激減しており、今までにないくらい通行量も少 ない。	
		タクシー運転手	お客様の様子	・今月はボーナス時期でもあり、夜などはもう少し動 きがあるかと期待していたが、ほとんど利用客がな く、町中を歩いている人もいない。	
		設計事務所（所 長）	それ以外	・6月20日の建築基準法改正で確認申請のあり方、構 造の是非等が大幅に変わった。それにより確認申請の 受付件数がほとんどゼロになっており、今後できる建 物が大幅に減るとのことなので、本当に大変であ る。	
企業 動向 関連	良く なっている				
	やや良く なっている	食品製造業 （製造担当）	受注量や販売量 の動き	・販売量は思うほど変わらないが、中国食品問題の影響 を受け、商品構成が変わりつつある。特にスーパー は国産物に力を入れ始めている。	
		一般機械器具製 造業（生産管理 担当）	受注量や販売量 の動き	・四輪駆動車向け部品は例年夏場に大きく落ち込む が、今年は落ち込みがなく出荷数量を維持している。	
		電気機械器具製 造業（経営者）	受注量や販売量 の動き	・中越沖地震の影響で自動車の生産が少し狂ったこと と、秋に新しく発売するフルモデルチェンジの車の部 品発注が極端に多くなったので現状ではかなり忙しい 状況である。いつまで続くのかは疑問であるが、今は すごく忙しい。	
		輸送用機械器具 製造業（経営 者）	受注価格や販売 価格の動き	・この7か月くらい受注価格、取引先の様子等、非常 に好調に推移している。	
	変わらない		化学工業（経営 者）	受注量や販売量 の動き	・予想と違い、8月は工場の稼働率が悪く、9月は8 月のずれ込んだ受注が重なりとても忙しくなる。8月 は整備のメンテナンスに当てるので、収益には問題が ない。
			窯業・土石製品 製造業（経営 者）	取引先の様子	・例年の特注納品後も、店頭商品の受注が例年に比べ て好調である。
			金融業（調査担 当）	取引先の様子	・当社の県内業況アンケート調査の結果では、4～6 月期の全産業D I（良い～悪いの回答割合）が2期連 続で悪化している。特に製造業は、前期比で大幅に悪 化、3期連続の悪化となっている。
			不動産業（管理 担当）	受注量や販売量 の動き	・テナントの出入りがあったものの、面積的にはほぼ 変わらなかったため、賃貸収入に大きな変化はない。
		経営コンサル タ	それ以外	・街中の再開発が大小進んでいるが、地場の中小企業 がそれらの好影響を受けているようにはみえない。	
	やや悪く なっている		食品製造業 （営業統括）	競争相手の様子	・夏休みに入り、例年この時期は多くの工場見学者が 訪れるが、関係各社共に期待したほどの見学者は訪れ ていない。
			電気機械器具製 造業（経営者）	受注量や販売量 の動き	・主要取引先のボタン電話機の売行きが芳しくなく、 次の改版までこの状況が続くようなので、当社受注も 下降気味である。
		広告代理店（営 業担当）	取引先の様子	・取引先の話では夏の賞与がゼロになったり減額した りで、中小企業の業績は相変わらず良くならない。	

	悪く なっている	輸送用機械器具 製造業（総務担 当）	受注量や販売量 の動き	・中越沖地震関係で自動車メーカー関係の減産に入 っていることと、素材、原料が高値安定のなかで収益面 は依然として回復に至っていない。このような状況か ら、賞与を総額で前年比20%減らし、何とか売上増を ねらっているが、まだそこまではいっていない。
		その他製造業 〔宝石・貴金 属〕（経営者）	受注量や販売量 の動き	・7月のサマーセールの上りも低迷している。統合す るデパートは在庫整理で企画品以外は仕入れがストッ プしている。他も店頭売上が思わしくないせいか、秋 口の商売に向けて仕入れを調整し、在庫処分に徹して いる。
		建設業（総務担 当）	受注量や販売量 の動き	・受注高が前年比105%となったが、前期が大幅赤字 であり、受注も安値受注が多いので、今期10か月が経 過したが、当期の利益計上は難しい状況である。
雇用 関連	良く なっている	-	-	-
	やや良く なっている			
	変わらない	人材派遣会社 （営業担当）	求人数の動き	・企業からの派遣依頼の動きが減少している。同様 に、派遣登録者も減少傾向にあり、人材確保難であ る。この背景には、企業が正社員での人材確保を拡大 していることが影響している。
		職業安定所（職 員）	求人数の動き	・月間有効求人数が約2年ぶりに前年同月を下回って いる。特にここ2か月は非正規求人の減少が正規求人 の減少幅を上回っている。
		職業安定所（職 員）	求人数の動き	・先行指標である新規求人数が前年同月に比べ5.0% 減少している。2か月連続の減少となったが、減少幅 が縮小している。
		職業安定所（職 員）	求人数の動き	・求人数自体は大幅に増加していないが、派遣求人は 依然として求人数全体の約18%を占めている。
		民間職業紹介機 関（経営者）	求人数の動き	・企業間格差があるなかで、一部の大手企業の業績不 振による求人減を、比較的堅調な中小企業がカバーし ている。
	学校〔短期大 学〕（就職担 当）	求人数の動き	・求人数は少なくなってきたが、この時期も採用活 動を継続している企業は多い。ただし、IT関連職や 技術職、営業職が多くを占めるようになってきてい る。	
	やや悪く なっている			
	悪く なっている	-	-	-